

# ★輝く先輩:「一つひとつが自分の土台となる」

猪原 暁さん / 2009年3月卒 / TOEIC 800点

中学: サッカー部 キャプテン

高校: 「第1回 中高生平和サミット in 広島」 実行委員

名古屋大学大学院 環境学研究科 / 学術表彰2回

2016年4月～ 大手総合エネルギー企業



緊張する学会発表



研究先ドイツの街並み



第1回平和サミット in 広島



最高の友と最高の旅に出よう

## (1). 中学時代「これだけはやっておく！」

“学校”に集中！坂道の登下校、朝読書、授業、部活動、学校行事、毎日の一つひとつに、前向きに取り組むことが、大学生活、大人になった時の自分の「土台」となります。その過程で、うまくいったり、いかなかったりしたことが、将来の成長に繋がります。私は、中学サッカー部で主将を務めた経験が土台となり、大勢の人の前でも勇気をもって話をするできるようになりました。焦らず、ゆっくり、大きな土台を築いてください。

## (2). 高校時代「これだけはやっておく！」

自己分析！高校では、授業科目が増え、文理クラス分けが実施されたりするなど、環境が変化していきます。私は、その環境の変化に戸惑い、将来について悩んだ一人です。

後輩には「自己分析」をオススメします。私は、「自分は何が好きだろうか？」を考えてみたところ、高速道路に魅力があることに気づき、「土木」を大学で学びたいと思うようになりました。進路で悩む時期が来た時には、周りの人と比較することなく、自分の好きなこと・やりたいことを、探してみてください。ただし、正直にね！

## (3). 大学時代の生活

### “勇気ある知識人”をめざして

私は、自発性を重視している名古屋大学で学びました。社会ニーズの変化が激しい時代で活躍していくためには、「自ら考え・行動する」ことが求められます。

「勇気ある知識人」になることをめざした研究生生活でした。机上の知識を得るだけでなく、さらにその知識を、勇気をもって発信することで、初めて価値のある知識になると考えたからです。国際会議や国内外の学会に多く参加できたことは、本当に私の成長の糧となりました。自分の探求心を追求するには、大学は最高の環境です！

## (4). わが盈進の後輩へのメッセージ

本当に盈進でよかったと思っています。ただ一つだけ後悔があります。高校でけがをしてサッカー部を辞めたことです。不完全燃焼の気持ちが今でも夢に出てきます。後輩には後悔を残してほしくはありません。私は、その後悔を、「平和サミット」に注ぎ、かけがえのない仲間を得て、大学時代のボランティア活動に生かしました。自分の目標にむかい、真摯にひたむきに取り組んでください。その分だけ、生涯の宝物となります。私は10年、20年後も、「輝く先輩」であり続けたいと思います。